

「堺の夢・宝もの発見プロジェクト」研究会発足記念

宮川すすむ氏の「和島誠一賞」(文化財保存全国協議会)受賞を祝う「堺の歴史景観」報告会
世界で優れた都市といわれているところは、例外なく、それぞれの都市が長い歴史の中で
生み育ててきた文化の宝に市民が誇りを持ち、自らがその歴史文化を、現代の市民生活の
中に生かすことで、豊かに華を咲かせています。

景観法の制定は、もう一度、全国に残された優れた日本の空間文化を再評価すると共に、
市民がそれぞれの都市固有の文化も再評価しながら、文化を町づくりの基本に据えるべき
時代になってきたことを示す、一里塚の役割を果たすものです。

日本中の都市が、そこで住む市民にとって誰もが帰属意識を持って、住み続けたいと思え
る文化的な町づくりをしなければと考えるようになっていますが、その方法論が見付から
ずに右往左往している状態が続いています。それは堺市においても例外ではありません。

こうした中、「堺における夢・宝ものは何なのか?」を、様々な分野に於いてこれまでに
街づくりを考え、活動してきた方々が一緒に集い、共通の土台(認識)の上で研究・発見
しようという試みが、5月26日に開催した「文化財と共に歩む街づくり」セミナーを受け
て動き始めました。それが「堺の夢・宝もの発見プロジェクト」研究会です。

この研究会は、当面7月15日(日曜日・午前)の浜寺公園駅舎と、浜寺昭和町(昭和初期に
開発された、堺でも数少ない高級住宅地)界隈の街並みウォッチングと、午後からのセミナーを
皮切りに、12月までの6ヶ月間・毎月一回、「堺の宝もの探し」の街並みウォッチングと
セミナーをセットにした共同研究会として運営されます。

研究会の正式発足を記念して、またこの研究会の主力講師のひとりである、宮川すすむ
氏が今年度の「和島誠一賞」(文化財保存全国協議会が毎年大会に於いて、長年文化財保存
運動に貢献した個人・団体を表彰する)を受賞することになったことを、お祝いする会と
しても、以下の様な日程・主題にて、報告会を開催することに致しました。

「中世都市・堺」の環濠遺跡が発見され、その保存と活用を巡り、地域住民と当該自治
体との価値観の対立が予想される真っ只中に企画された報告会です。

積極的なご参加を賜り、この環濠遺跡の保存と活用を通して「堺の夢・宝もの発見
プロジェクト」研究会の発足と今後の活動を支援して頂きます様お願い申し上げます。

(記)

日時：07年7月28日(土) 14:00~17:00

場所：さかい新事業創造センター 1階多目的ホール(いす席にて約80~90名)

演題：遺跡から学ぶランドデザイン その歴史の変遷と検討課題 - 堺 での事例報告

報告者： 宮川すすむ氏 堺市堺区南田出井町在住

(文化財保存全国協議会常任委員 陵墓の学術調査に向けた宮内庁書陵部との懇談に関わる)

参加費：資料代として、¥500 -

参加申込は、FAX:072-254-4485 か メール：shishiya@nifty.com にて 事務局:猪谷まで